

県庁マメ知識 ①

福島県が誕生して130年

現在の福島県は、廃藩置県で生まれた福島・若松・磐前の3県が明治9年(1876年)に合併して誕生しました。誕生日は前号で紹介した「県民の日」の8月21日で、来年で130歳になります。初めて県庁舎が建てられたのは明治13年(1880年)。次いで明治40年(1907年)に再び新築されています。現在の県庁舎は、本庁舎が昭和29年、西庁舎が昭和46年にそれぞれ建てられました。



1880年新築の県庁舎。
当時の県人口は82万3120人。



現在の県庁舎。
現在の県人口は209万5900人。



スタート

議場
県の仕事や予算を審議して決定するところ。

県庁見学は議場からスタート。

ここは県民が選挙で選んだ県議会議員が、県のいろいろなことを審議したり決めたりするところ。58の議員席と議長席や執行部席、両脇に報道席、222の傍聴席があります。



発言する議員の持ち時間は決まっています、残りの時間がパネルに表示されます。みんなの中にも将来この議場に座る人が出てくるかもしれませんね。



みんなの好奇心

もっと知りたい、見てみたい！
県庁のいろいろ。
さあ、みんなもいっしょに県庁を
誌上探検してみよう！



110番で通報するときは、
①いつ②どこで③何があったかを、
落ち着いて話してね。



通信指令室
見学中、ひっきりなしに
110番通報が。

建物は古いけれど県庁には最新の通信システムがあります。ここ警察本部にある通信指令室もそのひとつ。県内の110番通報はすべてここで受信され、現場に最も近いパトカーにすぐに連絡できる仕組みになっています。大型画面には現場の詳しい地図が表示されるので、指示は的確で迅速です。いっような形で起きるかわからない事件や事故。そのため指令室は365日24時間体制で対応しています。

昼食は西庁舎の
食堂で。
好きなメニューを
選んでね。



食堂

こうした情報はインターネットや携帯電話でも見ることができ、家や学校で調べてみましょう。



ここ数年、1時間に降る雨の量が
50~70mmという大雨や
カミナリが増えているんだって。

<http://www.pref.fukushima.jp/kasen/>

河川流域総合情報システム
雨量や水位をつねに観測
して、情報を全県に提供。

県内各地で自動計測している雨量、ダムのデータ、河川の水位データなどは、すべてこのシステムに送られてきます。送られてきたデータは集計処理や図形処理された上で、県内の市町村や建設事務所に転送され、全県の河川の様子がわかる仕組みになっています。